



FUMIKO ICHIKAWA
市川 文子

fumiko.ichikawa@gmail.com
<http://www.tokyo-stories.com>

プロフィール概略

ユーザー・エクスペリエンスの専門家としてフィンランド・中国・日本にて携帯メーカー、ノキアに勤める。2008年退社後に個人事業を設立。クライアントは携帯事業からワークプレイス、飲料品開発まで、多岐の産業に渡る。

職歴

個人事業 東京ストーリーズ 設立 フリーランスとして活動 (2008年～現在)

デザイン東京支部閉鎖後、ノキア・ジャパン株式会社を退社。フリーランスとして活動を開始する。コンサルタントとして携帯端末やサービス企画におけるユーザー調査に関わる他、国内外のデザイン会社の日本市場調査のコーディネーターやトレンド分析を行うアナリストとしても活動している。

日本：ノキア・ジャパン株式会社デザイン部異動、シニア・ユーザー・エクスペリエンス・デザイナー (2006-2008)

東京に異動後、デザイン部インサイト・イノベーションチームに所属。Future Urban プロジェクトではエマージングマーケットにおいて携帯電話の果たす役割に着目し、中国やガーナなどでフィールドワークを行う。その他にも、2008年末に売り出されたNokia 5800に搭載されたアプリケーション「Contact Bar」のコンセプト開発に携わった。

中国・北京：ノキア中国モバイル・フォーン異動、シニア・ユーザビリティ・エキスパート (2003 - 2006)

ソフトウェア・プラットフォームSeries 40におけるアジア唯一のユーザビリティ専門家として活動。中国やインド、ベトナム、タイ、ブラジルなどアジア諸国を中心に調査を実施し、アプリケーション開発ならびに低所得者層のためのユーザー・インタフェース作りにも携わる他、仕様書作成への参与や、大学との共同研究、社員へのユーザビリティ・トレーニングなども執り行う。

フィンランド・ヘルシンキ：ノキア・リサーチ・センター入社、研究員 (1999-2003)

ユーザビリティ・グループにリサーチャーとして入社。基礎研究からユーザー調査まで行う。中でも中国市場で発売されロングヒットとなったNokia 6108においては、業界初のタッチパッド端末を開発すべく、企画段階にプロジェクトマネージャーとして一連の調査を行った。

最終学歴

1999年9月 慶応義塾大学大学院 政策・メディア研究科卒業。修士論文のテーマは携帯電話における予測型日本語文字入力方式の研究。

技能

ビジネスレベルにおける英語、ならびに日常会話程度の中国語を操る。ユーザビリティ調査やユーザー・リサーチなど、プロダクトのデザインや企画のプロセスに必要な一連の調査・開発手法に関する知識を持つ。パソコン技能：Microsoft Word/Powerpoint/Excel/Visio, Apple Pages/Notes, Adobe Photoshop/Illustrator/InDesign, Macromedia Flash/Dreamweaver/Fireworksなど。その他、必要に応じて、VBAやPerlなどのプログラミング言語を使用し、基本的なデータ処理も行う。